

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	左冠動脈主幹部に対する冠動脈ステント留置術の臨床成績と関連因子の研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2029年9月30日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で左冠動脈主幹部に対し冠動脈ステント留置術を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2015年4月1日 から 2025年9月30日 追跡期間：2027年9月30日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第二内科		
⑦ 研究責任者	氏名	藤村 達大	所属 山口大学医学部附属病院 第二内科
⑧ 使用する情報等	研究対象とする期間から追跡期間終了までの期間の電子カルテデータから得られた患者さんの背景：性別、左冠動脈主幹部病変に対する冠動脈ステント留置術が実施された際の年齢、合併症、既往歴、現病歴、前治療歴、治療背景および検査内容（血管造影・血管内イメージングの有無、抗体検査、心臓超音波検査など）、臨床転機（心血管イベントの有無、死亡、心臓死、冠動脈再治療、他冠動脈治療、出血イベント、脳梗塞）を使用します。		
⑨ 研究の概要	本研究は、心臓の主要な血管である左冠動脈主幹部に対して冠動脈ステント留置術が実施された患者さんの治療の経過について調べる研究です。従来は冠動脈バイパス術という外科手術が主な治療法でしたが、現在ではカテーテルを用い、血管を拡張させる治療が普及しています。しかし、これまでの研究ではどちらの治療法がより良いかについて明確な結論は得られていません。本研究では、研究対象とする期間に当院で、左冠動脈主幹部に冠動脈ステント留置術が実施された患者さんのデータを用い、その臨床転帰と患者さんの健康状態や生活習慣、疾患および治療内容との比較を行います。比較を行う際には、心臓の病気によるイベント（再発や死亡など）があった方と、なかった方の2つのグループに分けて解析を行います。その結果から、日常診療でどのような治療方針を選ぶとより良い結果が得られるかを明らかにし、治療の改善に役立てることを目的としています。		
⑩ 実施許可	実施許可日	2026年 2月 26日	

⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部医学系研究科器官病態内科学講座の研究費を使用します。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二内科 担当者：藤村達大			
	電話	0836-22-2248	FAX	0836-22-2246